

知ってる？

介護のお仕事のホント！

【介護ロボットって？】

- ①情報を感知（センサー系）
 - ②判断し（知能・制御系）
 - ③動作する（駆動系）
- の3つを持つ機械システム



【介護職員】

ロボット
ICT



活用！

介護のイノベーション！ ～ロボットICT特集～

ロボット・ICTの活用など。先進的な
介護の取り組みについて紹介します！



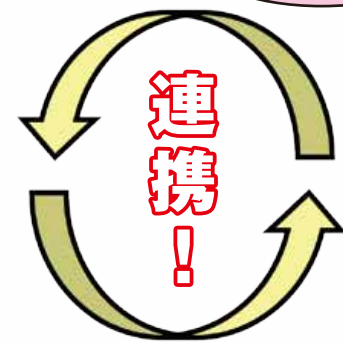
【介護負担の軽減】
【利用者の自立支援】

開発の流れ

【研究開発機関】



機器の開発支援



試作品

現場の声

【介護現場】



介護現場での検証

どんな種類があるの？

取材協力：(株)介護センター花岡



開発重点分野6項目

①移乗支援

装着型ではパワースーツ、非装着型ではリフトなどがあります。



装着型・非装着型の機器で、介助者のパワーアシストをします。

②移動支援



「フラティア」
転倒予防、坂道の移動補助を電動でアシストします。

屋内・屋外での移動、立ち座りや荷物の運搬等をサポート。

③排泄支援



「ラップポン」
ボタン1つで自動ラップ処理。臭いも密封し、ゴミ捨ても簡単。

排泄物処理、排泄予測、トイレ動作の支援に役立ちます。

④見守り・コミュニケーション

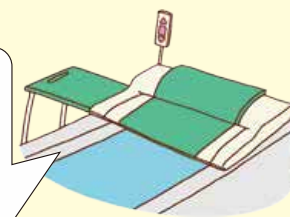


「眠リスキャン」
センサーで睡眠状況、ベッド上の体勢をお知らせします。

センサーや通信により見守り、コミュニケーションを手伝う。

⑤入浴支援

浴槽の出入りを支援するリフトや、特別な造りの浴槽などで自立入浴を支えます。



浴槽に出入りする際の一連の動作をロボット技術で支援します。

⑥介護業務支援

スマホやタブレットによる電子記録、音声入力など、目的は多岐にわたります。



介護業務の情報を収集・蓄積し、支援への活用を可能とします。

新たに介護の仕事をはじめてみたい方へ

諏訪広域連合 介護保険課では、新たに介護の職場で働きたいと思っている方を対象に、相談窓口を設けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

《介護のお仕事相談窓口》

諏訪広域連合 介護保険課（茅野市役所6階）
☎ 0266-82-8162（直通）
平日 午前8時30分～午後5時15分

**【富士見町】
24時間ケアサポートふじみ
(富士見町社会福祉協議会)**



機器名：ほのほのTV通話システム
種 類：見守り・コミュニケーション
「テレビ電話で見守り力と緊急対応力がアップ！
難しい操作が必要ないので利用者さん
も安心して使えます。」



機械が苦手な人でも大丈夫？

職員の中には、機械に苦手意識のある方もいて「難しそう」や「使いこなせるかな」といった声もありました。しかし、使っているうちに段々と慣れ、今では「これ無しで働くのはもう考えられない」と言うほど馴染みましたね。
私たちにとって、あって当然なものとなっています。

どうやって活用してる？

見守りや声がけ、緊急通報など幅広く活用しています。
テレビ電話により緊急時の兆候が事前に察知でき、付属のペンダント型緊急通報装置ですぐに緊急通報もできるため、普段から緊急時まで役立ちます。これによって、定期の巡回だけでなく、随時訪問についても効率よく提供できています。
また、記録システムと併せて活用することで、リアルタイムで情報共有でき、職員間の連携にも非常に役立っています。
それだけでなく、やっぱり顔を見て話せる安心感は別格だから、利用者さんにとっても、万が一の際の心の拠り所になっているように感じます。

未来の介護サービスには欠かせないもの！

限られた人材で質の高いサービスを提供するためにも、ICTの活用は欠かせないと思います。積極的に活用することで職員のみならず、利用者さんにとっても良い影響がありますので皆さん試してみてください。

**【富士見町】
特別養護老人ホーム恋月荘
(長野県厚生農業協同組合連合会)**



機器名：走行式リフト
種 類：移乗支援
「移乗介助の強い味方！
天井・床走行式、据え置き型など、簡単操作で1人でも安心感のある移乗介助を提供できます。」



使ってみてイメージは変わった？

「手でやった方が早い」、「人と人との温かみこそが介護」と考える職員もいましたが、実際に使ってみるとイメージは一変しました。1人でも手早く、負担なく行えるようになったことで余裕ができ、介助中に利用者さんと会話する時間も増え、一対一で丁寧なケアを提供できるようになりました。
最初に抱いていた印象とは真逆で、より温かみのあるケアがリフトで提供できたのです。



使う際に心がけていることは？

負担が減りますが、頼りすぎて大事なことが疎かにならないよう気をつけています。車の運転と一緒に慣れてきた頃が一番危ないと思うので、慣れにより気が緩まないよう心がけ、安全なケアの提供を続けていきたいです。

一歩踏み出すことで分かることがある！

イメージから、導入を悩んでいる施設もあると思います。まずは一歩を踏み出して体験してみてください！実際に実感してみると分かることや、何より抱いていたイメージと違うことに気が付くと思います。僕もそうでした。
人の手でもロボットであっても、温もり溢れるケアの提供に大切なのは考え方や心がけです。人材や時間も限られている中、よりよいケアを提供する助けになりますよ。

**【岡谷市】
愛の家グループホーム岡谷幸町
(メディカル・ケア・サービス(株))**



機器名：notice (記録システム)
種 類：介護業務支援
「iPhoneによる電子記録でいつでもどこでも記録ができる！
支援に必要な食事、バイタル等の大切な情報を手軽に入力管理。」



導入して良かったことは？

いつでもどこでも手軽に記録できるようになったため、利用者さんの近くにいられる時間が増え、結果として施設内の笑い声が増えました。
また、入力したデータを手軽に一覧で出力できるため、ご家族や医療機関から感謝されることもあります。



職員に馴染んでもらうための工夫は？

導入を不安に思った職員もいましたが、職員に興味を持ってもらい、導入を楽しみにしてもらるように管理者が進んでPRしました。
また、若手の職員が率先して使い方を教えたり、年配の職員も自分から教えてもらいにいったりと、これをきっかけに世代間のコミュニケーションが活発になりました。

メリットは負担軽減だけじゃない！

私たちは、記録システムを導入することで余裕が生まれ、入居者さんに関われる時間も増えました。また、職員にゆとりが生まれたことで、今まではやりたくても諦めていたことに取り組めるようにもなりました。
もし導入を迷っているのであれば、是非検討してみてください。見学も大歓迎です。

**【下諏訪町】
グレイスフル下諏訪
(社会福祉法人サン・ビジョン)**



機器名：リショーン^{プラス}
種 類：移乗支援
「ベッドが分離して車椅子に！
持ち上げることなく簡単に移乗させられるため、離床の機会を手軽に増やせます。」



導入のきっかけは？

法人で推奨する「ノーリフティングポリシー」に則り、職員の負担軽減と利用者さんの安全確保に役立つかと考えました。
以前に使用していた機器は2名で対応する必要があること、準備に時間がかかることが課題でした。これは、1名で使えること、難しい操作が必要ないことが良く、メーカーと開発協力していたこともあり導入に至りました。

導入して良かったことは？

身体的・時間的にも余裕ができました。また、寝たきり等の理由で離床する機会が減ってしまう方も、気軽に移動ができることで日中に皆と一緒に過ごす時間が増えました。
家族にベッドの良さを説明すると、「寝たきりで過ごさなくていいのは嬉しい」と喜んでもらえます。

「イメージ」より「体験」！

初めて見たときには、「機械的で冷たい気がする」や「難しい講習が必要なの？」と考える人もいました。しかし、操作も簡単ですし、研修等を通じて自分自身が体験してみるとですぐに考えが変わりました。
実際にふれてみないと分からないことがいっぱいあります。あくまでイメージはイメージなんですね。今では、これなしでの移乗介助なんて考えられないです！

